

【第2回】五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ 開催結果報告

- 令和3年12月20日（月）に「第2回五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ」を国土交通省宮城南部復興事務所と丸森町の共催により行いました。
- 第2回目となる今回のワークショップでは、遊砂地整備予定地にて、VRやMRの映像装置で遊砂地の完成イメージを確認しました（VR：バーチャルリアリティ、MR：ミックスドリァリティ）。
- 現地見学後のワークショップでは、「遊砂地の利活用アイデアの具体化に向けて」をテーマに、参加者の間で活発な意見交換が行われました。

＜第2回 ワークショップ参加メンバー＞

- ・住民代表者：行政運営推進員等 7名
- ・ファシリテーター：日本工営（株）
- ・アドバイザー：東北大 柴山准教授
- ・オブザーバー：宮城県

【ワークショップの開催計画】

＜第1回＞
 ・令和3年11月8日（月）
 ・テーマ：
 遊砂地でしたいこと、
 あると良いものについて

今回

＜第2回＞
 ・令和3年12月20日（月）
 ・テーマ：
 現地視察、遊砂地の利活用
 アイデアの具体化に向けて

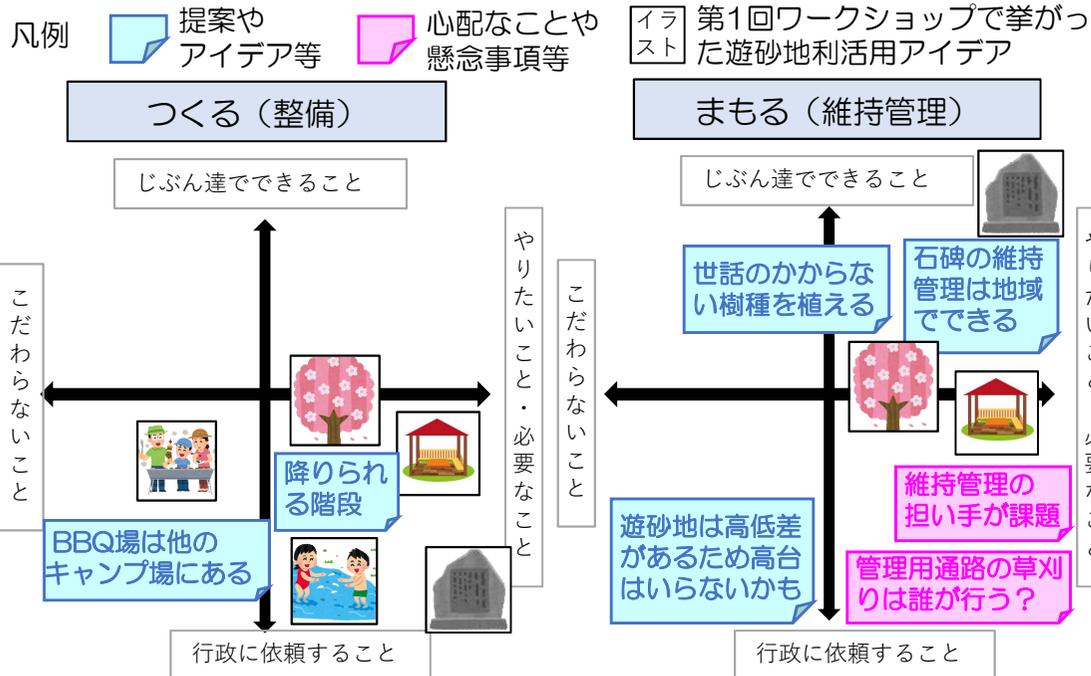
＜第3回＞
 ・令和3年2月中
 ・テーマ：
 提言書に向けた
 最終確認について

＜提言書の策定＞
 丸森町へ提言書を手交

第2回テーマ：遊砂地の利活用アイデアの具体化に向けて

- 「つくる（整備）」と「まもる（維持管理）」の2つの観点で、第1回WSで挙がったご意見に対する思いや行政との連携について意見交換が行われました。

参加された皆さまからいただいた主なご意見



▲現地見学の様子（写真1、2）



▲ワークショップの様子（写真3）

東北大学・柴山准教授の講評

- 管理しやすい施設としてほしいとの意見があった。同時に地域でできることを検討するとよい。
- 遊砂地の下流部だけでなく、上流のほうに人を誘導する仕掛けがあるとよい。
- 遊砂地により安全性は高まるが、避難も必要であることを忘れずにいてほしい。



東北大学
 災害科学国際研究所

柴山明寛 准教授
 （写真4）